

編集発行責任者 伊藤 洋

〒125-8506 東京都葛飾区青戸6-41-2

TEL:03-3603-2111(代表)

URL:<http://www.jikei.ac.jp/hospital/katsushika/>

E-mail:aotokouhou@jikei.ac.jp

INDEX

01. 部署紹介 看護部(外来)

02. 連携病院のご紹介

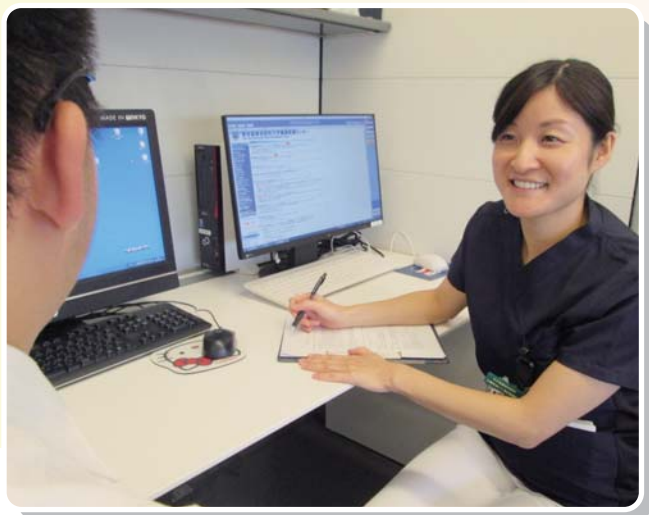
03. 公開セミナーを開催しました、「患者さんの声」について

04. プロアコンサート、医療連携フォーラム2017、認定看護師による取り組み

部署紹介 看護部(外来)

当

院では患者さんの「住み慣れた地域・家庭で暮らしたい」を支援するために、がん看護相談外来、糖尿病看護外来、ストーマ外来、腹膜透析外来といった看護師が行う「看護外来」があります。近年医療の進歩に伴い、化学療法や日帰り手術等の高度な治療も外来で行えるようになりました。病気をもちながら生活を続けていく中で、様々な不安や悩みが生じると思います。自分らしい暮らし方をあきらめないために、「看護外来」では患者さんがどのように暮らしていきたいと願っているのかをお伺いし、専門性を持つ看護師が上手な病気との付き合い方を一緒に見つけていく支援をしています。「看護外来」を活用して頂き、「時々入院、ほぼ在宅」を一緒に実現しませんか。「看護外来」に限らず、外来では患者さんをご家族が望む暮らしに、出来る限り寄り添える看護を目指していきたいと考えています。



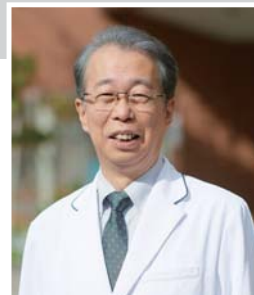
連携病院のご紹介

金町中央病院

当院は昭和35年に葛飾区金町に開設して以来、50年以上に渡り「誰もが安心してかかれる病院」を目指してまいりました。

今後も急性期医療を継続発展しつつ、回復期・慢性期医療の部分もお引き受けすることで、地域の皆さんの暮らしの安心をサポートすることを病院の基本方針の一つと考えております。当院は、24時間365日体制で、二次救急医療に備えており、迅速かつ適切な医療をご提供しております。

外科では、消化器・乳腺・呼吸器など、幅広い分野の手術を行っております。内視鏡センターでは、2台の検査システムを整備し、スムーズな検査をご提供出来るようになっております。また、透析センターを設けており、各科連携のもと、入院から外来まで様々な症状の透析患者様をサポートしています。平成26年には、地域最大数となる地域包括ケア病棟（40床）を開設し、手術や検査が終了した後、すぐに在宅や施設へ戻るには不安のある患者さんに対し、在宅復帰に向けたリハビリテーション等を行っております。東京慈恵会医科大学葛飾医療センターをはじめ、近隣の先生方との連携を強化し、積極的に患者様の受け入れをさせていただきます。これからも末長く地域の皆様から信頼され、愛される病院であるために職員一丸となって真摯に務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



病院長 栗原 英明

交通案内

〈電車・バス〉

- JR金町駅・京成金町駅より徒歩12分
- JR金町駅・京成金町駅より都バス5分
(浅草寿町行き 草39番バスに乗車『新宿郵便局』停留所下車)

〈車〉●専用駐車場のご用意がございます(有料14台)



いなば内科クリニック

院長の稲葉 敏(いなば さとし)と申します。私は東京慈恵会医科大学附属病院で内科医長、内科講師を歴任した豊富な実績と臨床経験を生かし、地元葛飾の地で、より多くの患者様に奉仕し地域医療に貢献できますよう、当いなば内科クリニックを開設して早20年余りが経ちました。その間、慈恵医大葛飾医療センターとの病診連携を強化し、実に多くの患者様そしてご家族様と信頼関係を密にして診療をさせていただきました。「やさしさ」・「安心」・「信頼」の医療をモットーに、より多くの方々に光のあたる医療を目標に日々精進を重ね、「地域医療の信頼の灯台」を目指してまいりました。当院の特長は、内科総合的な診療で、守備範囲の幅の広さと、きめの細かい医療です。

糖尿病・高血圧症・高脂血症など生活習慣病はもとより膠原病、アレルギー疾患、血液疾患、甲状腺疾患、消化器病、狭心症・不整脈などの循環器疾患、喘息・肺気腫などの呼吸器疾患等々、多種に及ぶ内科疾患全般、さらにはアルツハイマー型認知症やレビー小体対型認知症など老年医療についても対応しております。また、漢方医学を駆使した診療も行っております。

「どこに相談したらよいかわからない」などの際にも是非、お気軽にお申しつけください。

今後も一貫して、患者様に奉仕する医療をスタッフ一同、心掛けてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

交通案内

〈電車〉

- 東京メトロ「千代田線」直通・JR常磐線各駅停車「亀有駅」徒歩2分
- ※リリオパーキングをご利用の方は、駐車券(1時間)・駐輪券(1日券)を差し上げております。



院長 稲葉 敏



公開セミナーを開催しました

平成29年9月9日(土)に当医療センター5階講堂にて、第47回葛飾医療センター公開セミナーが開催されました。

テーマは「**知っていますか? ~胃癌について~**」

第1部、外科 青木寛明先生から「胃癌にならないために、なったときに」、続いて第2部では栄養部管理栄養士 種村陽子による「食事はどうなる?胃を切った人の食事」の演題でお話をいただきました。

参加者は100名であり、参加者からの質問も多く、大変有意義な時間になったと考えています。

次回は来年の2月10日(土)を予定しております。詳細が決まりましたら改めてご連絡させていただきます。

「患者さんの声」について

●業務課 北里景子

当医療センターでは、皆さまからのご意見やご感想を受け付けるご意見箱を院内に設置しております。皆さまの声を今後の病院運営の参考にさせていただき、より良い医療の提供に努めたいと存じます。また、皆様からの貴重なご意見に対しての回答を病院ホームページならびに、1階正面玄関脇のご意見箱付近の掲示板に回答掲示しております。

過去の「患者さんの声」

●ご意見(平成29年7月)

診察の待ち時間が長くなり、その後の検査予約に間に合わず検査できなかった。
予定通り検査できるよう配慮してもらいたい。



回 答

配慮が不足、大変申し訳ありませんでした。
診察後、検査予約のある患者さんは、原則、検査に間に合うよう外来スタッフ間で情報を共有しております。
今後は、検査室との情報共有を徹底し、スムーズに検査をお受けいただけるよう努めたいと思います。

●ご意見(平成29年9月)

手術を受けた患者は、診察予約日を過ぎてからの連絡でも、
担当医で受診できるよう予約制度を改善してほしい。



回 答

貴重なご意見ありがとうございます。
当院では、診察のご連絡がないまま予約日を過ぎた場合、原則、予約外での受診(8:00~11:30までの受付)にてご案内しております。
ご予約外での受診の場合は、担当医に確認して対応できる場合もありますが、担当医での診療が困難な場合もございますので、事前にご連絡くださいますようお願い致します。
(受診日前日・当日中の14:00~16:00までは変更可能です。)



フロアコンサート の開催について



平 成29年9月9日(土)に、当医療センター1階のロビーにてフロアコンサートを開催しました。フロアコンサートは、患者さんに「癒し」をお届けすることを目的として定期的に開催しており、今回は本学研修医および有志による弦楽4重奏をお楽しみ頂きました。

当日は、入院患者さんや外来患者さんなど、100名を超える聴衆を前にモーツァルトの名曲「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」や「花は咲く」など、5曲をお届けしました。その後、参加者からのアンコールに応え、皆さんと「ふるさと」を熱唱し、閉会となりました。今後も、皆さんに「癒し」をお届けする企画を開催して参りますので、ぜひご参加ください。

葛飾医療センター 医療連携フォーラム2017を開催しました

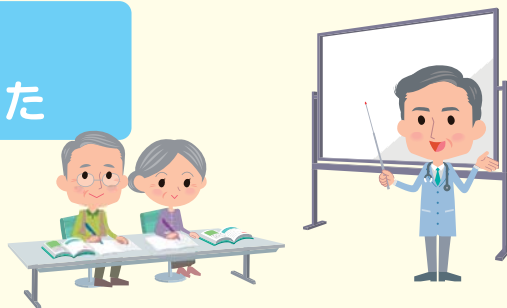
葛 飾医療センターは患者さんの紹介や医療に関する講演会を通じて、地域の医療機関（診療所や病院）との連携を行っています。この医療における連携を強化する目的で、平成29年11月11日(土)、当院にて「慈恵医大葛飾医療センター 医療連携フォーラム2017」を開催

しました。当日は地域の医療機関の方々に多数ご参加頂きました。ご参加頂きました皆さまにはこの場をお借りしまして、あらためて御礼申し上げます。

8回目となります今回の医療連携フォーラムは、国立病院機構 東京医療センター 副看護師長 林紗美先生より「優しさを伝える技術:ユマニチュード®」をテーマにご講演を頂きました。院内外から150名を超えるご出席頂きました。

第二部の懇親会では当センターの各診療科診療部長の挨拶があり、ご参加頂いた先生方と懇親を深めることが出来ました。普段は電話や紹介状でしか連絡をとれない先生方と直接会って話す機会を得て、「顔の見える医療連携の推進」を図ることが出来ました。

この医療連携フォーラムは次年度以降も開催予定です。さらに充実したフォーラムになるよう企画して参りますので、今後ともよろしくお願いたします。



◆◆◆◆◆ 認定看護師による取り組み ◆◆◆◆◆

● 乳がん看護認定看護師

乳 がん看護認定看護師は、乳がん患者さんの身体的・心理的・社会的な状態を総合的に捉え、治療前から治療後の生活をより良く過ごすための支援を行っています。診断後早期から看護面談を行い、乳がん患者さんご家族の不安に対する支援や、治療選択の意思決定支援をしていくことで、安心した治療生活を送れるようサポートしています。

乳がんの治療は外見の変化を伴うものがあります。治療中・治療後も自分らしく生活するために、ウィッグ(かつら)やメイクに関すること、術後の補整下着、リンパ浮腫予防や症状の改善、セクシュアリティを含めた日常生活の相談もお受けしています。

